

[成果情報名]高温耐性を有する夏秋スプレーギク新品種「佐賀 SK36 号」および「佐賀 SK37 号」の育成

[要約]黄色の夏秋スプレーギク「佐賀 SK36 号」および「佐賀 SK37 号」は、夏期の高温環境下においても開花遅延や貫生花等の奇形花の発生が極めて少なく高温耐性に優れ、7月から10月上旬までの開花作型における電照抑制栽培に適用可能である。

[キーワード]スプレーギク、高温耐性、電照抑制栽培、開花遅延、奇形花発生

[担当]佐賀県農業試験研究センター・野菜・花き部・花き研究担当

[代表連絡先]0952-45-2143

[分類]研究成果情報

### [背景・ねらい]

佐賀県の花き栽培において、キクは栽培面積および生産者数が第1位の最重要品目である。その用途の多様化や栽培が容易な点から、スプレーギクの生産が徐々に増加している。しかし、近年の夏期の高温により開花遅延や貫生花等の奇形花が発生し、計画生産に影響を及ぼしており、また、佐賀県の気候に適する電照抑制栽培が可能な夏秋スプレーギクの品種が限られている。

そこで、高温耐性を有し、電照抑制栽培が容易な夏秋スプレーギク品種を育成する。

### [成果の内容・特徴]

1. 「佐賀 SK36 号」および「佐賀 SK37 号」は、佐賀県農業試験研究センター育成で高温耐性を有する黄色のスプレーギク系統「佐賀 31 号」を種子親、黄色の夏小ギク品種「青葉」を花粉親として、2017年に交雑し得られた実生個体から選抜した品種である。
2. 「佐賀 SK36 号」は、花形が一重咲き、花弁の色がレモンイエロー（RHS カラーチャート Yellow 6A）であり、花弁の形がやや剣弁である（図 1A）。
3. 「佐賀 SK37 号」は、花形が半八重咲き、花弁の色が濃黄色（同上 Yellow 7A）であり、小輪で多花である（図 1B）。
4. 両品種は、夏期の高温環境下において電照消灯から 52～54 日程度で安定して開花する特性を有し、開花遅延が生じにくく、貫生花等の奇形花の発生は極めて少ない（表 1）。
5. 両品種は、7月から10月上旬までの開花作型における電照抑制栽培に適用でき、切り花長や 85cm 調整重などの切り花品質を十分に確保できる（表 2）。

### [成果の活用面・留意点]

1. 自然開花期は5月下旬である（データ略）。
2. 「佐賀 SK37 号」は小輪で多花であることから、小ギクとしても活用できる。
3. 両品種ともに、栽培は佐賀県に限定される。
4. 本試験は、佐賀県農業試験研究センター内の無加温ビニルハウス（6m間口、灰色低地土）で行った。

### [具体的データ]

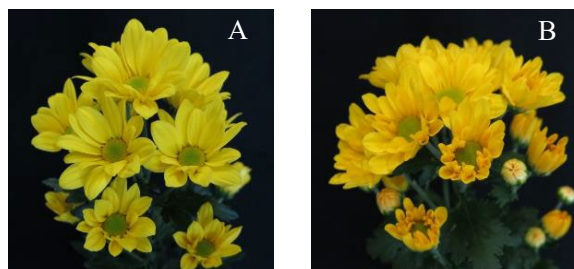


図 1 夏秋スプレーギク新品種「佐賀 SK36 号」 (A) および「佐賀 SK37 号」 (B)

表1 8月上旬開花作型<sup>2)</sup>における「佐賀SK36号」および「佐賀SK37号」の開花特性

品種名	試験年	消灯時 草丈 (cm)	平均 開花日	到花 <sup>Y</sup> 日数 (日)	切り花 長 (cm)	葉数 (枚)	一次 分枝数	総花蕾 数 (個)	花径 (cm)	85cm <sup>X</sup> 調整重 (g)	フォー <sup>W</sup> メー ション	奇形花 <sup>V</sup> 発生 程度
佐賀SK36号	2024	37.0	8月6日	53 a	89.6	41.2	9.0	10.5	3.9	50.6	A,B	0.0
	2025	33.7	7月28日	54 a	90.0	38.4	7.8	10.6	4.0	43.3	A,B	0.0
佐賀SK37号	2024	34.6	8月7日	54 a	84.3	37.7	10.8	15.2	3.7	51.7	A,B	0.0
	2025	33.9	7月26日	52 a	84.3	33.8	10.0	15.6	4.4	66.4	A,B	0.0
セイマオン (対照)	2024	35.5	8月14日	61 b	99.9	34.0	7.7	8.9	5.0	48.7	A	0.0
	2025	31.4	8月4日	61 b	89.0	31.8	8.5	10.9	6.1	61.4	A	0.0

<sup>2)</sup>直挿し: 2024年5月1日、摘心: 5月14日、電照消灯: 6月14日、電照消灯後50日間の平均最低気温(気象庁、佐賀): 24.9°C

直挿し: 2025年4月17日、摘心: 5月8日、電照消灯: 6月4日、電照消灯後50日間の平均最低気温(気象庁、佐賀): 24.1°C

<sup>Y)</sup>電照消灯から開花までに要した日数、Tukeyの多重検定により異文字間に5%水準で有意差あり

<sup>X)</sup>切り花を長さ85cmにカットして下葉を30cm除去した時の重量

<sup>W)</sup>スプレーギクの花序の形態(図2を参照)

<sup>V)</sup>0(無)、1(軽)、2(中)、3(甚)

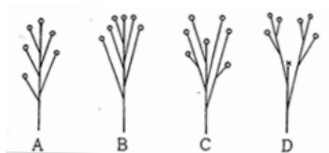


図2 スプレーギクのフォーメーション

表2 各開花作型における「佐賀SK36号」および「佐賀SK37号」の開花特性

作型 (試験年)	挿し芽	定植	摘心	消灯日	品種名	平均 開花日	到花 日数 (日)	切り花 長 (cm)	80cm 調整重 (g)	奇形花 発生 程度
7月開花 (2020)	3月12日	3月30日	4月9日	5月19日	佐賀SK36号	7月9日	51	99.3	68.1	0.0
					佐賀SK37号	7月8日	50	97.1	71.6	0.0
8月開花 (2020)	4月9日	4月28日	5月12日	6月16日	佐賀SK36号	8月4日	49	110.1	50.6	0.0
					佐賀SK37号	8月6日	51	100.4	68.0	0.0
9月開花 (2020)	5月15日	6月2日	6月11日	7月21日	佐賀SK36号	9月8日	49	94.7	55.2	0.0
					佐賀SK37号	9月13日	54	87.7	64.4	0.0
10月開花 (2021)	6月18日	7月5日	7月15日	8月19日	佐賀SK36号	10月4日	46	95.1	53.1 <sup>Z</sup>	0.0
					佐賀SK37号	10月6日	48	82.8	63.2 <sup>Z</sup>	0.0

<sup>Z)</sup>10月開花作型は85cm調整重のデータ

(佐賀県農業試験研究センター)

## [その他]

予算区分: 県単

研究期間: 2017~2025 年度

研究担当者: 坂本健一郎(佐賀農大)、中島治(佐賀県庁)、松崎颯大、月足公男(佐城農振セ)、福田茜(東松浦農振セ)、仲原芳美、大塚紀夫(元佐賀農業セ)、東哲典(元佐賀農業セ)、米倉翔太(元佐賀農業セ)、松村司(元佐賀農業セ)、宮崎雄太(執筆担当者)

発表論文等:

- 1) 坂本ら(2024) 園学研、24 別 1:349
- 2) 坂本ら「佐賀 SK36 号」品種登録出願公表第 37879 号(2025 年 6 月 17 日)、坂本ら「佐賀 SK37 号」品種登録出願公表第 37880 号(2025 年 6 月 17 日)
- 3) 佐賀県(2025)「スプレーギク『佐賀 SK36 号』『佐賀 SK37 号』栽培マニュアル」(2026 年 3 月 公開予定)